令和４年度　社会福祉法人くすの木福祉事業会　事業報告

評議員会・理事会開催状況

開催年月日	参加者数（監事含）/議案数		審議内容
	評議員会	理事会	
令和4年5月24日		8名 7件	・令和３年度事業報告について ・令和３年度社会福祉事業区分会計決算の認定について ・定款の変更について ・役員等報酬規程の一部改正について ・理事候補者の選任について ・社会福祉充実計画について ・定時評議員会の開催について
令和4年6月9日	8名 5件		・定款変更の承認について ・役員等報酬規程の一部改正について ・理事の選任について ・令和３年度社会福祉事業区分会計決算の承認について ・社会福祉充実計画の承認について
		8名 1件	・常務理事の選定について
令和4年11月9日		7名 2件	・育児・介護休業等に関する規則の一部改正について ・令和４年度社会福祉事業区分会計補正予算について
令和4年12月23日		8名 1件	・施設長の任免について
令和5年3月18日		7名 6件	・第三者委員の選任について ・施設長の任免について ・役員賠償責任保険契約の更改について ・令和５年度社会福祉法人くすの木福祉事業会事業計画について ・令和５年度社会福祉事業区分会計予算について ・令和４年度社会福祉事業区分会計補正予算について

その他の実施状況

●職員研修

・虐待防止研修

障がいのある人の人権と障害者虐待　：　蒲郡市福祉総合相談室　鈴木康仁氏

虐待防止・身体拘束適正化　：　田原授産所　鎌田博幸氏

・役職者研修

社会福祉法人の役割　：　蒲郡市福祉総合相談室　鈴木康仁氏

・ＡＥＤ及び心肺蘇生法講習　：　日赤愛知支部　村崎正明指導員

・感染症対策研修会

新型コロナウイルス感染症によるクラスター　：　たつき福祉会　額田の村　今泉頼和氏

・パート職員研修

法人の成り立ちと歴史　：　前つつじ寮長　河合幹夫氏

●諸規程検討

・法人諸規程検討及び労務相談（月1回開催　大山社会保険労務士来寮）

●感染症対策委員会　随時実施

●法人災害対策委員会

・災害対策本部及び福祉避難所設置訓練の実施　蒲郡市と連携し福祉避難所受入訓練実施

●地域公益取組推進委員会

・地域座談会への参加

・児童クラブへのおやつ提供の実施

・大塚地区コミュニティバス停留所へベンチ寄贈

●法人職員採用試験実施（5回）

令和４年度　障害者支援施設つつじ寮事業報告

１．職員構成

総数　５０名　（　）は非常勤再掲

施設長　　１	事務員　　２（１）	サビ管　　１	生活支援員　３４（１５）
看護師　　２（１）	栄養士　　１	調理員　　７（７）	嘱託医　１（１）

２．利用者の状況

定員　５０名

●療育手帳判定

	A判定	B判定	C判定	計
男	22	1	0	23
女	19	4	0	23
計	41	5	0	46

●障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	3	11	9	23
女	0	0	0	4	5	14	23
計	0	0	0	7	16	23	46

●在籍および入退所状況

施設入所者　令和５年３月３１日現在４６名

退所者　５名　入所者　２名

３．支援状況

引き続き、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施しながらの１年であった。

具体的な支援については、昨年度に引き続き、高齢・重度化に対応するべく、利用者１．７人に対して１人の職員を配置して、マンパワーによる利用者支援の充実を図ってきた。また、この１年は障害支援区分の認定調査などが多く、新しい職員も利用者の現状を客観的に把握することを通して、アセスメントなどの重要性について理解することが

できた。日中活動支援については、個々人の能力や適性、年齢に合わせ、生産活動を行う「下請け作業班」と高齢、重度の方に対して身体機能維持活動を行う「ひまわり班」の２班で活動を実施した。

それぞれの利用者の想い（ニーズ）に寄り添い、本人が楽しみながら、生きがいのある生活が送れるよう個別支援計画を立て、目標が達成できるように以下の支援を行った。

（１）生活支援

生活面では、食事・排泄・入浴等必要不可欠な支援について個別の支援ガイドを作成し、利用者本人の状態に合わせた支援を行った。

（２）日中活動支援

＜下請け作業班＞ 班員 23 名（男性 14 名・女性 9 名）

支援状況及び報告

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が大きく出て、わくわくワーク大塚の仕事の受注が少なく実績が更に減少している。また、Ｆバーナーの受注も大きな変化はなく、低受注のままだった。そのため、年間の利用者へのボーナス支給を見合わせている。

作業に関しては、個々の利用者の能力に合わせて作業工程を工夫し、どの利用者も作業に参加できるように努めた。

作業を頑張ったことで、利用者も給料を受け取ることを楽しみにしている。給料日の日は作業に実が入る利用者が多く、新型コロナウイルス感染症防止のため職員が購入したお菓子をみんなで食べるなど、給料と美味しいものが食べられるということが結びついており、働く意欲につながっている。

作業が落ち着いている日には､利用者と一緒に施設の周りやドライブ先で散歩したり、ひまわり班にと一緒に運動を行うなど、体力の維持に努めた。

＜ひまわり班＞　班員 26 名（男性 11 名　女性 15 名）

支援状況及び報告

ひまわり班は、基本的にアクティブ、ヘルス、ケアの３グループに分け、円滑な活動ができるようにしているが、更に利用者一人ひとりのニーズに寄り添えるよう、本年度は３つのグループに拘ることなく、利用者の適性に沿った支援が行えるようグループの垣根を越えて柔軟に活動を進めた。具体的には、歩行速度に合わせた散歩のグループ分けや、利用者に合ったコースを選ぶこと、ドライブ散歩、寮内歩行、運動場歩行などを行った。

昨年度に引き続き、その日の活動を仕切る職員のリーダーを決めて、特定職員だけで活動を進めることによる活動内容の偏りを防ぎ、正職員に責任を持たせ、その効果

が出た。

活動については、今年度は全体的に体力維持を目標に散歩を中心に実施し、年間を通して体を動かすことができた。また、個別活動にも再度着目して進めた。

（３）自立支援

１）生活支援・・・金銭感覚取得、身辺の自立

地元の美容院に出かけ、金銭使用に慣れたり、外出する中でマナーを学ぶ等、各自のスキルアップへの取組みを実施した。

買い物や洗濯など個々に合わせた個別支援計画を作成し、生活する上で自立に必要な支援を行った。

２）地域生活、就労に向けた支援…今年度は、コロナウィルス感染防止対策のため、グループホーム入居に向けての支援はできなかった。

（４）余暇活動

コロナウイルス感染症感染防止対策と並行しながら、生活に潤いを持たせ、ストレスの解消を図るため休日や平日の自由時間を有意義に過ごせるようにした。具体例として夕食後の余暇活動で、塗り絵、カラオケ、DVD 鑑賞など充実した活動を毎日実施した。

また、月１回土曜日の午前中に講師を招いた生け花教室、休日の午前に「コーヒータイム」を実施した。

（５）TAP 活動

セラピー活動（音楽療法・読み聞かせ)、アート活動（絵画教室・木工教室）を毎月実施した。但し、コロナ禍で中止の期間もあった。(読み聞かせ・木工教室については隔月実施)絵画教室は講師の丁寧な指導により１つの作品に時間をかけて取り組む利用者や、個々の特性を生かした絵を描き完成させている。完成した作品は絵画展等に出品している。

どの活動も個々の利用者の希望を尊重し、日々の生活の中で楽しみや生き甲斐の持てる充実した活動となり、参加利用者は毎回意欲的で笑顔に満ちていた。

今後も活動を継続して行き、利用者にとって生活の中での楽しみになるような活動を行っていく。

4. 健康管理

年２回保健・給食委員会を開き、それぞれの課題解決や充実を図ると共に健康維持に努めた。新型コロナウィルス感染症の対策として感染症対策委員会を計２回開催し、感染防止対策を行った。

(1)　定期健康診断(6/29、10/17)

聴打診、血圧測定、尿検査、血液検査、検便、胸部レントゲン（春)、腹囲測定（春)、心電図（秋)、大腸がん検査（秋）

(2)　乳ガン検診（7・9 月）　子宮ガン検診（11 月）

(3)　通院状況

定期通院については、内科、歯科、眼科、外科、整形外科、耳鼻科、皮膚科、泌尿器科、精神科、婦人科の通院を行った。また、歯科については蒲郡市障がい者歯科診療所の通院を行い、治療の難しい利用者が利用した。また季節的に、水虫、感冒、花粉症による通院を行った。

(4)　入院状況（延人数）

15 日未満	内科 5 名
15 日以上 1 ヶ月未満	内科 2 名
1 ヶ月以上 3 ヶ月未満	内科 4 名　精神科 1 名

(5)　寮内処置状況

（水 虫 対 策）　皮膚科に通院し、処方された外用薬を塗る治療を行った。また常に足を清潔にするように支援を行った。

（怪我の処置）　擦り傷、切り傷、軽い外傷。

（感染症対策）　日ごろの予防として、手洗い、うがい他、体力作りに心がけた。

毎日の体温測定（１日２回測定）を行い、早期発見に努めた。薬剤を使用した寮内消毒及び清掃を念入りに行った。

インフルエンザワクチン接種については、11 月実施。インフルエンザ罹患者はいなかった。

新型コロナウイルスワクチン接種は 8 月に 4 回目、12 月に 5 回目実施した。9 月、利用者 2 名が新型コロナウイルスに罹患し、その後クラスターが発生する。結果、ほとんどの利用者、支援員が罹患した。うち 1 名は入院治療となったが、大事には至らなかった。

5．食　事

必要な栄養素・栄養バランスの摂れた献立を作成し、旬の食材を多く使用した食事を提供した。嗜好調査や、毎月の集会でリクエストの聞き取りを行い、献立に取

り入れた。毎週木曜日には主菜を２種類用意する選択メニューを実施し、選択する自由を尊重した。また季節の行事に合わせた食事を提供し、食事をより楽しんでもらえるように努めた。

健康管理上の配慮が必要な方は、栄養士、調理員、看護師、支援員が協議して、以下の様に対応した。

・肥満者・・・・・・・・・・肥満食、極肥満食
・低体重者・・・・・・・・・主菜、副菜１．５倍食
・咀嚼能力の低い者・・・・きざみ食
・嚥下能力の低い者・・・・とろみ付け、ミキサー食
・血圧の高い者・・・・・・塩分を控える（汁物半量、漬物なし等）

６．行　事

コロナ禍の中、多くの行事を感染防止の為、中止となる。

５月	春期家庭療育　中止
５月９日	春の定期健診
６月	ふれあい旅行（日帰り）　中止
８月	夏期家庭療育　中止
８月１９日	夏まつり２０２２in つつじ寮
９月	ふれあい旅行（一泊）　中止
９月２２日	あしあとの会
１０月１７日	秋の定期健診
１１月１１日	福祉まつり２０２２in つつじ寮
１２月１５日	もちつき会（大塚保育園児受け入れ　中止）
１２月２０日	クリスマス会・蒲郡市歳末慰問
１２月	冬期家庭療育　中止
２月１６日	節分豆まき

７．職員研修

利用者に対し心理的、身体的、社会的自立と安定した日常生活を援助するためには、現在かかえる利用者の高齢化や重度化等、サービスを提供する上で、必要な知識及び技術を専門的に学習する必要がある。そのため年間を通し以下のように行った。

(1) 施設内研修

コロナ禍のため、法人として企画はしたものの、実施できたのは、救急救命講習(AED)、障害者虐待防止研修、感染症対策研修（コロナウイルス感染症）を行う。

しかし、職員会議等で折に触れて、説明等をしてきた。

(2) 施設外研修（愛知県社会福祉協議会、知的障害者福祉協会等主催研修）

初任者、中堅職員研修で、職員のスキルアップを図り、資質、知識向上に繋がった。

また、昨年コロナ禍のため受講できなかった、強度行動障害の研修も受けることが出来た。Zoom 研修が増えたのも、今年度の特徴であった。

８．共同生活援助事業のバックアップ

共同生活援助事業所ひめはる、かるみあ・はちまんをバックアップした。各事業所と連携し、各ホームからの要請に応じ、緊急時にはその対応を行った。また入居者が安心して地域で暮らしていけるよう最大限の協力をした。

９．その他

(1) レクリエーション	・新型コロナウィルス感染予防対策を施し、グループごとに随時実施。外食を兼ねた買い物、公園散策、道の駅めぐり、演劇鑑賞、サーカス鑑賞を実施した。
(2) 防災訓練	・毎月１回実施 ・日中のみならず、職員の少ない夜間を想定し、非常時の対応ができる様に訓練した。１０月に法人災害対策本部設置訓練・福祉避難所設置訓練を行った。
(3) 環境整備	・毎月１回実施 ・寮内整備及び美化に努めた。
(4) 地域活動	・ふるさと博推進委員会（地元活動団体）の学習資源整備（年４回）、トイレ清掃管理（当番月：年３回）に取り組んだ。
(5) 理髪	・４月、６月、８月、１０月、１２月、２月に実施。
(6) 面会日・保護者会	・保護者会は４月、７月、１２月に実施した。面会は、緊急事態宣言等の出ていない期間、個別面接で対応した。
(7) ボランティアの受入れ	・繕い物作業等に温かいご支援、ご協力を頂いた。
(8) 苦情解決事業及び虐待防止	・社会福祉法の規定に基づき、福祉サービスに関する苦情相談窓口等について啓発すると共に利用者一人ひとりの面談に努めた。（令和４年度件数　０件） ・虐待防止については年１回、講師を招き研修を行った。また月１回虐待防止委員会を開催した。 （令和４年度通報件数　５件）

(9) 福祉サービス共通評価基準自己点検　・令和２年１２月実施。

(10) 短期入所（宿泊を伴うショートスティ）事業

・令和４年度利用実績　延べ　７５名、２３２日

(11) 日中一時支援(日帰りショートスティ)事業

・令和４年度利用実績　延べ　６６名、２６８日

(12) 生活介護（通所）

・令和４年度利用実績　延べ　１２名、４３日

令和４年度　サポートくすの木　　事業報告

１．職員構成　（Ｒ５．３．３１）

職　種	員数	常　勤		非常勤	常 勤 換 算	備　考	保有資格
		専従	兼務	専従			
管　理　者	1	1			－		
サービス管理責任者	1	1			－		社会福祉主事、サービス管理責任者研修修了、強度行動障害支援者養成実践研修修了
生活支援員	１８	6	1	１３	１５．６８	相談員兼務	公認心理師、社会福祉士 介護福祉士、社会福祉主事 准看護師、強度行動障害支援者養成基礎研修修了
看　護　師	1			1	０．７		
医　　師	(1)			(1)		嘱 託	医師
事　務　員	1	1					
調　理　員						外部委託	

（　　）内は兼務

２．利用者の状況

（１）障害支援区分状況　（Ｒ５．３．３１現在）

	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	計
男　性	0	0	3	11	17	4	35
女　性	0	0	2	8	2	3	15
計	0	0	5	19	19	7	50

（２）月別　利用契約状況　（Ｒ４年度３月初〆）

市町村　　月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
蒲 郡 市	27	27	27	28	28	28	28	28	28	27	27	27
豊 川 市	22	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21
豊 橋 市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	51	51	51	51	51	51	51	51	51	50	50	50

（３）月別　利用者数状況　（定員５５名）

月 利用数・率	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	５１	５１	５１	５１	５１	５１	５１	５１	５１	５０	５０	５０
利用率　（%） （対利用者数）	93.3	91.0	90.9	91.1	81.2	85.8	93.6	92.1	89.7	89.9	92.8	91.6
１日あたり 平均利用人数	47.6	46.4	47.27	46.48	41.4	43.8	47.7	47.0	45.7	45.0	46.4	45.8

※８月利用率低下については、新型コロナウイルス陽性者発生による利用の停止の影響。

３．全体を通して

利用実績は、一日平均４５．８人、対定員数の利用率９１．６％。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策に対して、手洗いやアルコール消毒を徹底し、マスク着用と活動室内・公用車等の消毒・換気に手を抜く事なく毎日続けた。８月と９月の２回、１カ月間発症まん延し、９月はクラスターの認定をされた。重症化に至る利用者・職員がいなかった事が幸いであり、感染予防を継続させ休業することなく乗り切った。生産活動においては委託作業課が前年度に引き続き減収であるが、自主製品部門については、社会活動（イベント等）が動きだし、上向きの傾向となった。

４．生産活動

委託部門においては、コロナや社会情勢が売り上げに強く影響をした。Ａ社の繁忙期（７月、１２月）において、以前は利用者・職員ともに余裕がなくなるほどの作業量であったが、１年通してフラットな受注となり、急ぐことも手を止めることもない作業量であった。

Ｈ社においては、自動車業界の段ボールにおいて数か月発注が０という月があった。しかし、Ｍ社の作業の種類が増えたこともあり、作業の提供はできている。

全体を見ると売り上げ自体は下がっているが、職員・利用者ともにゆとりをもって作業に取り組めた。

木工部門においては、新型コロナウィルス感染症の影響もあったが、状況を見極めながら感染防止対策に配慮して開催したバザーも多く、「ウィズ・コロナ」という方向性を感じ取ることが出来た。商品に関しては長期在庫の現金化を念頭に置き、「リメイク」「価格の見直し」「製作の打ち切り」の３本柱を講じることにより、新商品の製作に寄与することが出来た。利用者支援においては高齢化や体力、集中力が落ちてきていることを踏まえ「作業精度の維持」を掲げ、繰り返しの作業に取り組んだ器具運動や食堂内での歩行運動は引き続き取り組んでいる。

菓子部門においては、利用者のスキルアップを図るため、事業所内での昼食デザートの受注製造を月に４回以上行った。デザートを食べた利用者から直接感想が聞け、作った利用者のやる気にも繋がった。季節の行事に合わせた商品作りも継続して行い、法人内でチラシを配布し多くの受注を受けることが出来た。新型コロナウイルスの影響は大きいが、昨年中止であった行事が開催されはじめ、個々の注文や企業様からの注文をたくさんいただけることが出来た。

５．生活介護活動（元気班）

運動サービス提供においては元気班所属の利用者を中心に、運動のニーズがある他部署利用者を受け入れ、器具を用いての運動や食堂歩行運動を実施した。元気班以外の利用者は午前４人、午後１０人を受け入れ、個別支援計画に基づくと共に、タイムスケジュール化をして器具を用いた運動をスムーズに提供した。利用者の運動に対するニーズ、健康の維持・増進、ストレスの緩和を含めた、生活介護事業所としての身体面・精神面における受け皿の役割を担った。

その他としては、特別支援学校や地元の学校からの個別の実習・体験依頼に対しては、元気班が中心となり受け入れをした。

６．生活・余暇支援

今年度も新型コロナウイルス感染症対策に心掛け、生活支援・余暇支援を実施した。規模が比較的大きな日帰り親子旅行や法人行事等は中止となったが、事業所内における行事は細心の注意を図り、選択レクリエーション、クリスマス会、節分行事は実施した。

７．保健状況

月	実　施　内　容
4	嘱託医医療相談　１４名　　救急用品・常備薬の整備
5	健康診断 利用者　（胸部 X―P・採血・検尿・聴打診・ＢＰ測定・腹囲測定・体重・身長） 職員　　（胸部 X―P・採血・検尿・聴打診・ＢＰ測定・腹囲測定・体重・身長 聴力視力・心電図） 嘱託医医療相談　２０名
6	嘱託医医療相談　１８名
7	嘱託医医療相談　１７名
8	嘱託医医療相談　１５名
9	嘱託医医療相談　１７名
１０	嘱託医医療相談　１８名 障害者歯科検診　中止 健康診断：利用者　（聴打診、検尿、血圧測定）
１１	インフルエンザ予防接種(利用者：４３名　職員：１３名） 嘱託医医療相談　　１１名
１２	嘱託医医療相談　１７名 救急法講習会　（ＣＰＲ／ＡＥＤ、気道異物除去法）
1	嘱託医医療相談　１６名
2	嘱託医医療相談　１８名
3	嘱託医医療相談　１７名

８．環境整備

毎月１回実施

日常の掃除では行き届かない部分や掃除しきれない部分を中心に実施し、施設内の美化に努めた。

新型コロナウイルス感染予防のため、毎日所内（公用車含む）消毒を実施した。

９．日中一時支援

令和４年度利用実績　　契約者数　０名

１０．苦情解決

社会福祉法第８２条の規定及び局長通知「社会福祉事業の経営者による福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針について」により、福祉サービスに関する苦情解決事業を実施した。　（令和４度件数　　１件）

１１．虐待防止

法人での虐待防止・身体拘束適正化研修があり参加している。また、各個人が３カ月に１回の自己点検表を提出し、それぞれが日々の支援の振り返りをする事で、意識の維持・向上を図っている。点検表は集計を取り、虐待防止・身体拘束適正化委員会（メンバー：役職者・各課 1～2 名　開催：3 か月 1 回）で内容を検討後、虐待防止・身体拘束適正化会議で報告し結果を全職員に配布している。　（令和４年度通報件数　０件）

１２．職員研修

職員の資質及び専門性の向上、意識改革を図るため、下記の研修会（オンライン研修）や法人内研修に参加した。

・障害者虐待防止・権利擁護研修　　・権利擁護セミナー
・苦情解決制度推進研修
・強度行動障害支援者養成者(基礎・実践研修)
・困難事例対応研修会　・療育研修会　　・障害福祉従事者初任者研修　他
・法人研修～虐待防止・身体拘束適正化研修、感染症対策研修、
　ＡＥＤ講習（口腔内異物除去)、役職者研修、パート職員研修

１３．防災訓練

令和４年度実施回数　　４回

実施内容　　地震及び火災による護身・避難並びに通報訓練 津波警報による避難訓練、消火器訓練等

法人での合同防災訓練については、広域の大規模災害（地震）発生を想定しての姉妹施設間の伝達訓練、福祉避難所立ち上げ訓練に参加している。

１４．行事実績

別紙１の通り

１５．生産活動実績

別紙２の通り

１６．その他

新型コロナウイルス応援職員派遣事業

・令和４年１月、２日間１名派遣

（別紙１）　令和４年度　行事実施報告

月	日	内　　容
４	４ ５ ７ ８ １１ １５	花見（木工１０名・豊川海軍工廠平和公園他） 花見（委託課６名・蒲郡とよおか湖公園） 花見（委託課１１名・蒲郡竹島） 花見（委託課９名・ロングドライブ） 花見（かふりえ６名・豊川ぎょぎょランド） 花見（元気班８名・ドライブ）
５	１６	定期健診（利用者・職員）
６	１５ ３０	選択レクリエーション（元気班６名） 賞与支給日
７	５ ７ ８ １３ １４ １９ ２２ ２５ ２９	選択レクリエーション（委託課６名・イオン豊川　買い物） 選択レクリエーション（委託課４名・アピタ蒲郡　買い物） 選択レクリエーション（委託課５名・クラスポ蒲郡　買い物） 選択レクリエーション（木工課５名・豊川稲荷　参拝門前散策） 選択レクリエーション（委託課３名・幸田セントラルボウル） 選択レクリエーション（委託課４名・西友岡崎　買い物） 選択レクリエーション（木工課５名・豊川稲荷　参拝門前散策） 選択レクリエーション（委託課４名・西友岡崎　買い物） 選択レクリエーション（かふりえ６名・プリオ豊川他　買い物）
８	６ １２	サポートくすの木夏まつり 利用者夏期休暇　（～１５日）
１０	２１ ２４	法人防災訓練 定期健診（利用者）
１１	１０	インフルエンザ予防接種（利用者４３名）
１２	１５ ２１ ２３ ２９	賞与支給日 クリスマス慰問 クリスマス会 利用者冬期休暇（～１／３）
２	３	節分・豆まき
３	２４	賞与支給日
毎　　月		工賃支給 嘱託医来診（医療相談） 環境整備 防災訓練（５月・６月・９月・１０月・１２月・R５．２月） 東海理化販売（第４火曜日） 蒲郡市役所販売（常設） 豊川市役所販売（第２週目水曜日）

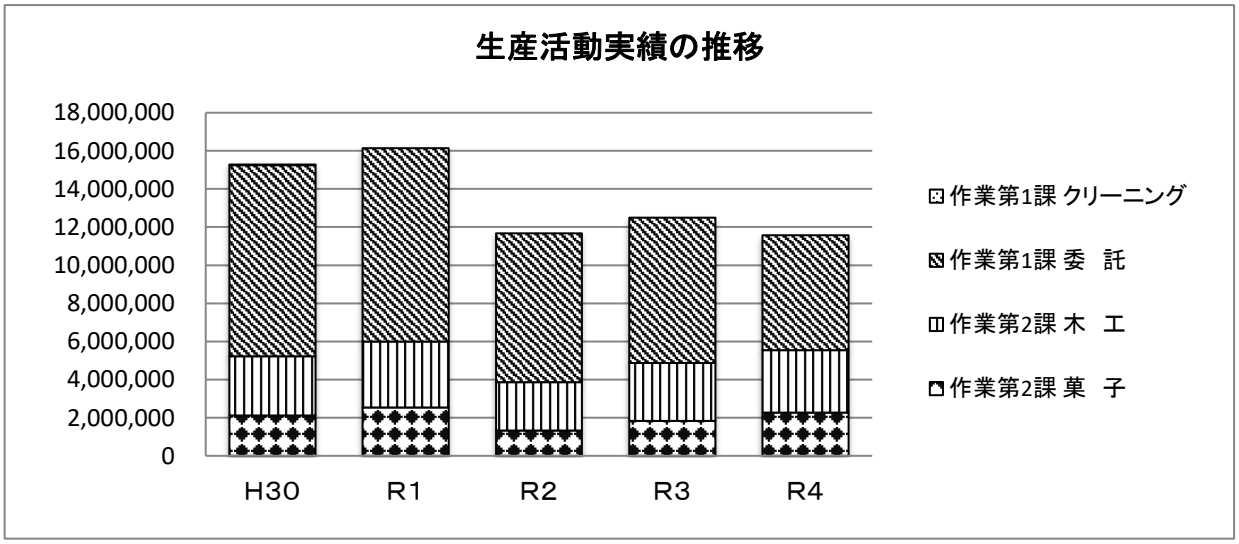
【別紙2】令和4年度　生産活動実績

(1) 年間課別実績

月	作業第1課	作業第2課		その他	計	経　費	純利益	工　賃
	委　託	木　工	菓　子					
4	0	132,076	315,110		447,186	99,105	348,081	629,743
5	412,785	318,420	111,410		842,615	327,985	514,630	929,933
6	388,578	85,580	137,410		611,568	311,833	299,735	962,852
7	560,222	408,546	79,406		1,048,174	246,766	801,408	629,740
8	637,416	144,880	209,280		991,576	415,322	576,254	629,974
9	488,820	234,440	176,810		900,070	300,210	599,860	629,847
10	574,537	356,130	222,490		1,153,157	474,262	678,895	629,692
11	472,125	313,470	83,360		868,955	501,764	367,191	629,737
12	502,382	339,330	156,400		998,112	461,950	536,162	1,573,124
1	463,710	375,020	214,640		1,053,370	424,663	628,707	630,391
2	559,219	186,110	236,950		982,279	221,802	760,477	629,841
3	452,906	152,300	237,570		842,776	330,505	512,271	944,571
決算見込	517,225	214,050	94800		826,075	534,333	291,742	0
合 計	6,029,925	3,260,352	2,275,636	0	11,565,913	4,650,500	6,915,413	9,449,445
月平均	502,494	271,696	189,636	0	963,826	387,542	576,284	787,454

(2) 年度別実績

(年度)	作業第1課		作業第2課		その他	計	工賃総額	工賃平均 (一人/年)	工賃平均 (一人/月)
	クリーニング	委　託	木　工	菓　子					
H30	17,660	10,030,348	3,111,250	2,115,180	0	15,274,438	10,693,400	194,425	16,202
R1		10,126,473	3,475,784	2,528,274	0	16,130,531	10,904,400	201,933	16,828
R2		7,821,184	2,530,804	1,324,135	0	11,676,123	10,005,965	196,195	16,350
R3		7,612,487	3,050,323	1,828,389	0	12,491,199	9,449,522	185,285	15,440
R4		6,029,925	3,260,352	2,275,636	0	11,565,913	9,449,445	185,283	15,440



令和４年度　わくわくワーク大塚　事業報告

１．職員構成

総数　２２名　　（内非常勤）

施設長１	サービス管理責任者１	生活支援員１４（８） （１名看護師兼務）	運転手１（１） 添乗員１（１）
事務員１	調理員２（２）	看護師１（１） （生活支援員兼務）	嘱託医１（１）

２．利用者の状況

（１）　月別利用契約者状況

月 市町村	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
蒲郡市	46	46	46	46	46	46	46	45	44	44	44	44
豊川市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
安城市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
設楽町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	49	49	49	49	49	49	49	48	47	47	47	47

（２）　各種関係手帳所持状況　　（　）は重複者

種別 性別	療育手帳				身体障害者手帳						計
	A級	B級	C級	なし	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
男	２３	３	０	０				(1)			２６
女	１３	７	０	１	(1)	(1)	1(2)	(1)			２１
計	３６	１０	０	１	(1)	(1)	1(2)	(2)			４７

（３）　障害支援区分

項目 性別	6	5	4	3	2	計
男	3	１０	１１	2	0	２６
女	5	3	8	5	0	２１
計	8	１３	１９	7	0	４７

（４）　日常生活自立状況

状況 領域	ほぼ自立		声かけにより可能		介助により可能		全介助		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
食　　事	4	7	１６	6	6	7	0	1	４７
歯磨き・洗面	4	4	4	6	１５	9	3	2	４７
排泄（生理）	6	6	１７	5(5)	3	8(8)	0	3(3)	４７
着　脱　衣	１０	6	１２	１０	4	3	0	2	４７
掃除（担当箇所）	4	1	１２	１５	4	1	6	4	４７

（５）　月別利用者数状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定　員	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
月平均 利用者数	45.2	44.7	45.8	45.0	41.6	45.0	45.6	44.2	43.5	40.0	43.8	43.4

平均月利用者数：44.0

３．日中活動支援

（１）自主製品科作業実績

①はじめに

今年度は、利用者２２名、職員７名（内非常勤職員３名）という体制で引き続きスタートした。作業内容は、菌床しいたけ栽培、委託作業、縫製作業を継続している。

それぞれの部門でより一層の作業の充実を目指して取り組んだ。また利用者一人一人の作業能力、個々に適応した作業を考え、委託作業科と協調して、一人一人に合った作業を提供するように心掛けた。

委託作業はW企業の受注の減少、縫製作業は新型コロナウィルスの影響で売り上げが低迷した。

しいたけ栽培については、収穫量の増加により売り上げが昨年度を上回った。

②縫製部門

本年度も一昨年度からの、引き続きの新型コロナウィルスの影響により、全体の売り上げが下がると思われたが、しかし、バザーも徐々に開催され、新しい商品も、予想以上に販売でき、嬉しい結果となった。

新型コロナウィルスの影響は、マスクの売り上げに大きく左右しており、減少傾向ではある。新たに市役所子ども子育て支援課より、市立保育園規定の幼児用給食セットの作成依頼があり、それを福祉課に置かれた常設店で販売できることとなった。少しずつ、販売できている状況である。

商品別ではマスクの売り上げが、昨年度の７７０枚から３４９枚弱に落ち込んだ。スツールについては若干、昨年度より販売数は伸びており、昨年度の１７８個から２０８個販売でき、２日に１個以上は売れていた状況である。また、端切れを使い、新しく作成・販売し始めた三河木綿の「マスクストッカー」や「ブローチ」も予想以上に販売でき、嬉しい材料となった。反面、常設店での売り上げが一番大きいテーマパーク内Ｂが２月から３月初旬まで移転新装開店によりこの間、販売が中止となってしまったことは売り上げに大きく響いていた。

各常設店販売別では、テーマパーク内の販売先Ｂが４０．６％、福祉課での販売が１９．７％、竹島園地内の販売先Ｔが２．０％、個人販売が１０．６％、ターバン作成が４．０％、バザー他が２３．１％となった。

総実績においては昨年度が４００，４２０円であったところ、今年度は４１３，８３０円とわずかながら昨年度を上回る売り上げとなった。

③委託作業

今年度は（株）W様より小学校教材のフェルト裁断作業を請け負い１１年目、フェルト大・小の裁断作業を行ってきた。

実績については、委託作業主が親企業より請け負った計画的な受注に沿った数量の実績であり、昨年度は６１１，５５９円、今年度は３２６，２８０円と２８５，２７９円減と約半分の実績になってしまった。

作業種としてこれ以外のM工業の部品の組付け、B 作業等も行ってきたが、コロナ禍や世界経済情勢の影響による部品調達の減少のせいか、作業量は少なく、利用者への作業の分配に困るような状況も時に見られた。

④菌床しいたけ栽培

菌床については、昨年度同様に三重県から仕入れた。品種も同様で、引き続き搬入回数を２回に減らすことで労力の軽減と経費削減を図っている。今年度は菌床の培養がうまくいき、長い期間収穫することが出来た。収穫量１００㎏を超える集中発生がなく、無駄にしいたけを市場に出荷、廃棄することはなかった。雑菌混入を避けるため５月ＧW明けに菌床搬入をした。7 月に岐阜県のしいたけ農家の方に温室・菌床の状況を見て頂き、培養や温度調整の助言を頂いた。8 月の猛暑は、農家の助言を活かし換気や散水などで温室・菌床

の温度調整をした。高温障害に陥ることはほぼなかった。10 月に入ると順調に発生が始まり、3 月過ぎまで収穫できた。総収穫量としては約４，３００㎏と昨年度より約１，５００㎏増え、実績も９０万円程増えた。

普及啓発の一環という観点からも近隣の老人ホームや保育園などの地元での販売を継続している。“しいたけ直売所”ののぼりを温室前に立て始めて７年目になるが、地域への理解も少しずつ広がり近隣の方、市外の方も多くおとずれてくれた。

販売経路は、これまでの蒲郡市内のＪＡ（Ｇセンター）、豊川市内のスーパー（Ｋマート国府店）、蒲郡のラグーナのマーケット（Ｂジカル）、生活協同組合と近隣保育園や老人ホームなどを中心に販売することができ、乾燥しいたけについても併せて販売を続けた。昨年度同様に保育園、児童館、老人ホーム、市内の福祉施設等での販売を積極的に行った。

コロナが停滞したことにより、東三河地域のバザーは少しずつ開催されるようになりバザーがあれば出向き、販売させていただいた。しいたけの品質といった点でも、「品質の良いしいたけ」と好評をいただくことができた。

（２） 委託作業科実績

①はじめに

委託作業科の体制になり１１年目を迎え、利用者２８名、職員９名（内非常勤職員５名）という体制で企業の下請け作業を中心に取り組んだ。作業内容は、委託作業全般・製パン・製菓作業ということで、委託作業は５社の業者から作業を受注し行っている。それぞれの業者からの作業の受注状況と利用者の作業能力に応じて、一人一人に合った作業を提供するように心掛けた。

②委託作業

委託作業では、５社の業者から自動車関連組み付け作業、部品のセット、プラスチック部品の組み付け作業、建築用部品の作成作業、ダンボールの緩衝材の組み立て、バーナー部品の加工等を行った。昨年度同様に自動車関連の業者からの委託作業は増加傾向にあり、安定した作業量、作業種の確保をすることが出来た。作業内容も簡単なものから高度なものまで様々あり、より多くの利用者の皆さんに作業を提供することができた。

一方で、住宅関連の業者についてもマンション需要とともに作業量も増加してきており、安定した作業量を確保できるようになってきている。より生産性を高めていくのと伴に、質の向上にも努めていくことで受注量の増加、新作業の獲得を目指し取り組んでいる。

③製菓部門

令和４年度は、利用者・職員共に新たに１名ずつを加え、利用者６名、職員２名で作業に取り組んだ。製パン作業は法人内の食事提供を中心に行いつつ、保護者の方や一般の方からの注文販売も多く頂き安定して作業ができた。コロナ禍を経てバザーも復活し始めた事も大きな成果となっている。製菓では、クッキーの製造を行い、今年度は大企業からの依頼もあった。昨年度から始まった地域公益事業のとして、地域の児童クラブにおやつの提供をした。

４．日常社会生活支援・健康管理支援

（１）日常社会生活支援

《手洗い》

インフルエンザやノロウイルス、新型コロナウィルス等感染症予防の一環として、令和２年度より、玄関に手動アルコール消毒器に加えて自動アルコール消毒器を導入し、登所時の手指消毒を継続実施している。手洗いについても、ここ数年で自動水栓・自動石鹸・ジェットタオル等を整備し、自動アルコール消毒器とともに感染予防に対応している。

基本的な手洗い支援として、お茶休憩時や昼食の手洗い時には職員がついて支援をしている。支援手順として、「水で洗い流す」⇒「きちんと石鹸液で汚れを落とす」⇒「水で洗い流す」⇒「ペーパータオルまたは、綺麗なハンカチ等で拭き取る」あるいは「ジェットタオルで乾かす」⇒「消毒液を手指に擦り込む」という基本的な手洗いの一連の流れがスムーズに行う事が出来るよう支援した。毎日の繰り返しで、家庭でも手洗いが上手にできるようになった、という声を聞いている。

《歯磨き・洗面》

昼食後には利用者自らが食堂洗面台で歯磨きを行い、その後当番職員が上手に磨くことが出来ない箇所を磨き直し、口の周りの清潔を保持している。一日一回の支援ではあるが、家庭でも習慣づくことを目指して支援している。また年一回の歯科健診を実施している。今後も継続する事で少しでも虫歯・歯肉炎予防に役立てたいと考えている。

《体力作り》

毎日、主に午前の時間を使って体力活動を行っている。

介護棟内では、利用者や保護者の要望・目標を取り入れ、それぞれに合った器具を使い活動を支援した。

ルームランナーや、フィットネスバイク等は速度や傾斜、時間等を変え、それぞれの体力に合わせたかたちで進めている。足温器やイージーウォーク（足首屈伸器具)、エルダックス（上半身運動器具）や肩マッサージ器は、主に筋力維持や血行促進を目的とされる方たちに取り入れている。また、色々なサイズのゴムボールを使う事で、機能維持や体幹強化を進めている。

屋外活動として、好天の日には散歩にも出掛けている。短距離（約１ｋｍ)、中距離（約２ｋｍ)、長距離（約 ３ｋｍ）のコースを設け、それぞれの体力に合ったコースで参加してもらい、帰ってからは腹筋やレッグマシーンに励む方も多くいる。猛暑時の散歩は中止とした。

雨天時には、昨年まで行っていたリズム体操は、コロナの第７波以降、当事業所でもクラスターになったことから中止した。その代わり、上記の体力活動を多く行うようにした。

平成２３年から体力向上や減量を目的として開始し、現在は体力・体重・健康維持にシフトチェンジされつつあるが、身体を動かす楽しみを感じたり、気分転換を図ったりする事に大いに役立っているよう感じる。

今後も安全と安心を最重視し、利用者・保護者のニーズに応えられるような活動をしていきたいと思っている。

（２）健康管理支援

定期健診、年２回実施

身体測定、年３回実施

歯科検診、年１回実施

健康チェック、毎朝、午後の検温実施（1 日 2 回）

給食、健康維持及び生活習慣病防止の献立作成

　　嗜好調査を３月に実施

５．環境整備・余暇活動

（１）環境整備

環境整備活動、毎月実施

清掃奉仕、年２回実施、５月・１０月（コロナ禍で中止）

衛生対策、玄関、食堂、トイレに消毒液設置

（２）余暇活動

土曜タイム、自治会活動、科別リフレッシュタイムの実施

６．日中一時支援事業(別紙１)

７．苦情解決・虐待防止・身体拘束適正化

（１）苦情解決

苦情としての受付はなかった。

意見要望等が言いやすい環境作りに努め、速やかに対応できるよう職員会議等で職員に周知した。

（２）虐待防止・身体拘束適正化

虐待事案の受付はなかった。

毎月、サービス提供点検を実施し職員会議で検討すると共に、虐待防止の関係する研修に参加し虐待防止に努めた。

身体拘束については、安易に「緊急やむを得ない」ものとして身体拘束をおこなうことのないように努めた。

８．令和４年度　作業実績(別紙２)

９．令和４年度　行事実績(別紙３)

（別紙１）

日　中　一　時　支　援　事　業　報　告

１．はじめに

　１８年１０月からスタートした市町村地域生活支援事業の日中一時支援事業〔蒲郡市・豊川市〕は１６年目を迎えた。

２．利用状況

　契約人数：０名

　延べ利用人数：０名

３．今後について

　今後も地域にて生活している障がい者の日中活動の場として作業や体力活動等を通した様々な支援を行っていければと考えている。

（別紙２）

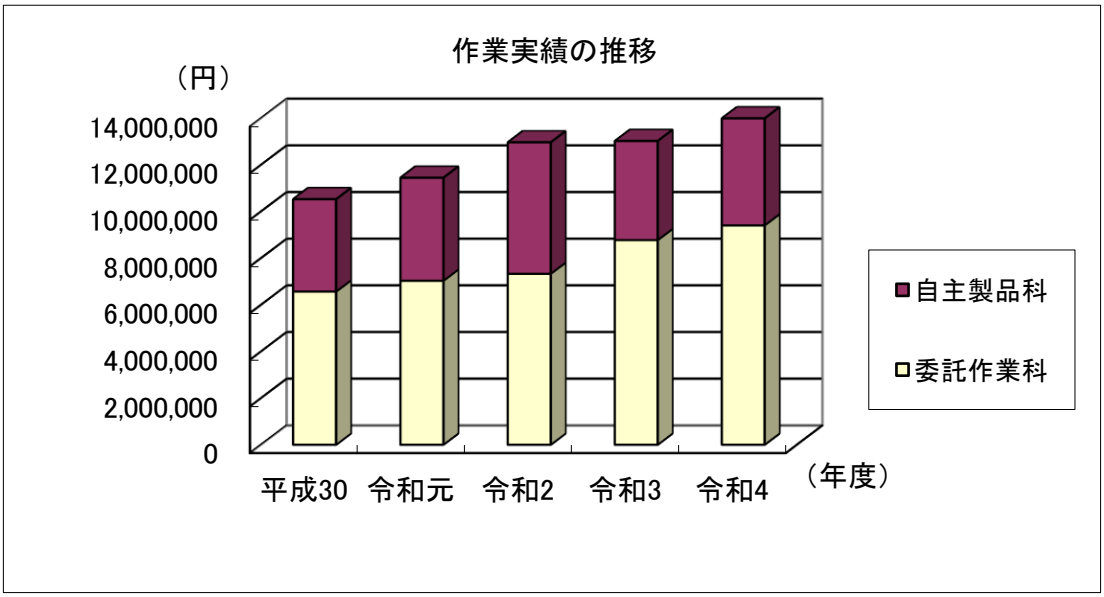
令和４年度作業実績

１．実　　績

（単位:円）

	自主製品科	委託作業科	計	経費	工賃
4	123, 330	589, 133	712, 463	251, 462	306, 270
5	97, 386	719, 162	816, 548	281, 752	305, 880
6	59, 903	658, 428	718, 331	1, 518, 386	610, 250
7	76, 940	771, 814	848, 754	318, 073	305, 640
8	82, 700	761, 535	844, 235	309, 846	304, 860
9	75, 290	919, 483	994, 773	558, 454	304, 110
10	104, 632	727, 925	832, 557	353, 963	304, 740
11	862, 813	746, 409	1, 609, 222	468, 462	305, 730
12	1, 212, 750	796, 431	2, 009, 181	445, 641	784, 520
1	603, 350	645, 556	1, 248, 906	698, 924	304, 560
2	609, 430	780, 430	1, 389, 860	453, 918	301, 560
3	513, 001	685, 312	1, 198, 313	448, 175	455, 335
決算見込	165, 392	601, 902	767, 294	1, 064, 969	2, 196, 490
合計	4, 586, 917	9, 403, 520	13, 990, 437	7, 172, 025	6, 789, 945
月平均	382, 243	783, 627	1, 165, 870	597, 669	565, 829

２．作業実績の推移



◎ 年度別実績

（単位:円）

	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
自主製品科	3, 958, 067	4, 415, 805	5, 633, 791	4, 247, 212	4, 586, 917
委託作業科	6, 567, 413	7, 030, 454	7, 328, 708	8, 773, 131	9, 403, 520
合　　計	10, 525, 480	11, 446, 259	12, 962, 499	13, 020, 343	13, 990, 437

（別紙３）

令和４年度　行事実績

５／　９	春の定期健診
２６	お楽しみランチ（テイクアウト）
６／１６	歯科健診
３０	利用者賞与支給
８／　６	ミニ縁日（盆踊り・スイカ割り）
１２	利用者夏期休暇（～１５）
１０／　９	ミニ合同レク（パン食い競走）
１７	秋の定期健診
１１／１０	お楽しみランチ（キッチンカー）
１２／１５	利用者賞与支給
１６	忘年会（テイクアウト・カラオケ・ビンゴ大会）
２０	蒲郡市（市長、市議会議長、社会福祉協議会長）年末訪問
２１	クリスマス会（イオン蒲郡店訪問）
２８	餅つき・仕事納め
２９	利用者冬期休暇（～１／３）
１／　４	仕事始め
２５	委託作業科初詣（竹島八百富神社）
３０	自主製品科初詣（竹島八百富神社）
２／　３	節分・豆まき
２４	科別レク（竹島水族館・テイクアウトランチ）
３／３１	花見（テイクアウト・蒲郡中央公園・東三河ふるさと公園）
３１	利用者賞与支給

※　毎月１回・・・・・・・工賃支給、誕生会、環境整備デー
　　高血圧者の血圧測定（毎日）

※　偶数月・・・・・・・・防災訓練

※　４ヶ月毎・・・・・・・身体測定

令和４年度　社会福祉法人くすの木福祉事業会　共同生活援助事業所
（ひめはる・かるみあ・はちまん）事業報告

1. 概要

令和４年度の入居者の状況は、令和４年 12 月末「はちまん」にて医療的ケアが必要になった入居者１名が岡崎の医療機関へ入院となり退所している。はちまんの入居者は５名から４名となった。また、「あざれあ」にて生活のしづらさを抱えていた入居者１名が他法人のグループホームの短期入所を経て、正式に入居契約を結んだため令和５年１月末退所している。あざれあの入居者は５名から４名となった。全体としては、利用定員は 50 名、利用者数は 48 名となった。

夜間支援体制の強化については、令和４年 12 月より「ふれんず」の夜間支援職員の配置を１名、同じく「さつき荘」についても令和５年１月より１名夜勤者を配置した。その他のホームでも、夜勤者の配置のないホームに配置できるか、すでに配置があるホームでは夜勤者の増員ができるかを検討した。

併せて、「ひめはる」の職員配置強化を目指したが、世話人の確保ができず実施できていない。新たな人材確保の方法として、ハローワーク求人登録、求人募集広告の掲載や求人募集チラシの配布に替えて、人材紹介サイト業者と契約し人材確保に取り組んだ。これにより、欠員の早期補充や夜勤者の増員に取り組むことができた。今後、「あざれあ」の夜間支援体制の強化にも取り組んでいく。

また、新型コロナウイルスの感染予防対策に努めたが、令和４年８月に「かるみあ」において、利用者１名、同月「ひめはる」において利用者２名が９月に「さつき荘」において利用者２名が発症した。豊川保健所の指示に従い、サービス管理責任者による 24 時間体制の隔離対応及び感染拡大防止対策と、管理者、事務員の後方支援によりおおよそ 10 日から 13 日間で収束することができた。その後も引き続き、定時検温・消毒清掃・マスク着用を徹底実施している。この他コロナ対策としては、不要不急の外出を控え、やむを得ず各ホームの日帰り旅行を中止した。

2. 入居者の状況(R5.3.31 現在)

事業所名	ホーム名 (住居名)	開設年度	住　　所	定員	男性	女性	備考
ひめはる	ひめはる	H23	大塚町後広畑 25 番地 4	10	10	0	
	あざれあ	H19	大塚町野添 105 番地 1	5	0	4	
	ふれんず	H30	大塚町後広畑 25 番地 10	5	5	0	
かるみあ	さつき荘	H 8	大塚町上中島 32 番地 2	5	5	0	
	かるみあ (2 ユニット)	H25	大塚町後広畑 25 番地 4	5	0	5	かるみあⅠ
				5	5	0	かるみあⅡ
	あいりす	H30	御津町御馬野添 149 番地	5	0	5	
はちまん	はちまん (2 ユニット)	H31	大塚町八幡 1 番地 1	5	4	0	はちまんⅠ
				5	0	5	はちまんⅡ
			総　数	50	29	19	

令和4年度　障害者サポートセンターすてっぷ事業報告

1.　概要

令和4年度は計画の更新が比較的落ち着いていたが、支援数が減ることはなくすてっぷかかわる必要のある状況は増え続けているように感じる。

令和4年度も蒲郡市自立支援協議会の事例検討部会の運営に携わったり、相談支援専門員の初任者研修の演習講師を担うなど相談支援本体の以外の業務が目立っている。また、蒲郡市や基幹相談支援センターをはじめとして他の機関と連携して業務に取り組むことが増えてきている。

引き続き、令和4年度も蒲郡市委託相談支援事業の業務も行った。

2.　相談支援の状況

【相談受付数】

	実人員	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他
人数	**131**	7	111	5	8	0

【支援方法】

	訪問	来所	同行	電話等	個別支援会議	その他	**合計**
相談数	455	44	22	426	26	499	**1475**

【支援内容】

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康医療	不安解消情緒安定	保育教育	家庭関係人間関係	家計経済
件数	920	3	653	336	112	376	117

	生活技術	就労	社会参加余暇活動	権利擁護	その他	**合計**
件数	216	71	500	13	105	**3467**

【サービス等利用計画およびモニタリング報告書作成数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計画数	10	2	0	3	4	1	5	3	4
モニタリング数	14	24	29	19	18	29	12	16	26

	1月	2月	3月	**合計**
計画数	5	3	8	**48**
モニタリング数	22	25	20	**254**